



モノブロックストロボ

MONO300B

使用説明書

はじめに

いつもプロペット製品にご愛顧を賜り、ありがとうございます。

このたびは写真撮影用ストロボ・MONO 300Bをお買い上げ賜り、厚くお礼申し上げます。

まず初めに、付属の保証書に「ご購入日」と「販売店」が記入されている事をご確認下さい。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解の上で、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。

プロペット株式会社

本社・東京営業部

〒111-0041 東京都台東区元浅草3-18-5 寺嶋ビル3F

Tel 03-5828-0681(代) Fax 03-5828-3890 Mail info@propet.co.jp

工場・修理

〒321-0921 栃木県宇都宮市瑞穂3-9-15

Tel 028-656-9292 Fax 028-656-6392

本機の特徴

さまざまなロケーションに対応できる幅広い調光範囲を実現しました。

- Full ～ 1/128 と幅広い調光範囲をご提供いたします。
- 色温度安定性優先の COLOR モードと閃光時間の短い ACTION モードを搭載しました。
- モデリングランプに Ra95 以上の 12W LED を採用しました。

長時間の使用を考慮した大容量バッテリーを採用しました。

- 日本製のリチウムイオンバッテリー及び充電器を採用しました。
- 60分で充電が完了する急速充電器を採用しました。
- 航空機への持ち込みにも考慮した 28.08Wh のバッテリーを採用しました。
- 充電器は 100 ～ 240V まで対応していますので、海外でも使用可能です。

細部まで設定できるコントロールパネルを搭載しました。

- 有機 EL パネル採用で、視野角が広く、鮮明でくっきりと表示できるインフォメーションモニターを搭載しました。
- 直感的に操作できるシンプルで使いやすい操作感をご提供いたします。
- コントロールパネルを囲むように設置されたハンドルにより、潜在的な誤操作や破損を低減いたします。

安全上のご注意




警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容

なお、 注意に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告



分解禁止

分解、修理、改造をしないでください。

十分な性能を発揮できなくなるだけでなく、感電や異常動作の原因になります。



使用禁止

次のような場所や環境で使用しないでください。

- ケースやバッグ、収納棚の中など、十分な空気の流れが確保できない所
- 著しく湿度の高い所
- 水やしぶき、薬品などがかかる恐れのある所
- 引火・爆発の恐れのある所
- 発光部が床や地面に極端に近づいた状態

けがや感電、火災の原因になります。



警告

AC アダプターやバッテリーを抜き差しするときは、必ずメインスイッチを切ってから行なってください。感電や予期せぬ故障の原因になります。



発光禁止

発光部の直前にパラソルやトレーシングペーパーなど、燃えやすいものがある状態で発光させないでください。

火災の原因になります。



警告



発光禁止

人の目に近付けた状態、または発光部を直視した状態で発光させないでください。
視力障害の原因になります。
※お子様を撮影する場合は特にご注意ください。



接触禁止

使用中や使用直後の発光部及びレフレクターには触らないでください。
やけどの原因になります。



警告

放電管及びバッテリーは標準品と同等のものを使用してください。
火災の原因になります。



注意



感電注意

次の場合は直ちに使用を中止してください。

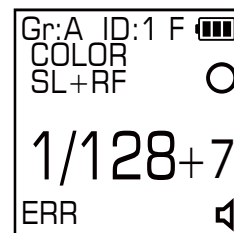
- ・落下などにより変形
 - ・破損が見つかった場合
 - ・バッテリーや本体が異常に発熱している場合
 - ・異音や異臭がした場合
 - ・ACアダプターやケーブルに破損が見つかった場合
- 感電や火災の原因になります。

ご使用上の注意とお願い

■警報について

・不発光

何らかの原因で発光しなかった時は「ピー」という警告音が約5秒間ほど鳴り、インフォメーションモニター下部に「ERR」が表示され、出力表示部と共に点滅を繰り返します。
プッシュ付きロータリースイッチを押すと点滅は停止します。



・オーバーヒート

長時間の連続発光などにより、内部の温度が一定以上になると強制的に充電を停止します。

インフォメーションモニターに充電部の温度（CHRT）とモデリングランプ部の温度（LEDT）を表示し、「OVER HEAT」の文字が点滅し続けます。同時に、SOUNDの設定に係わらず、警告音が「ピー、ピー…」と断続的に鳴り続けます。オーバーヒート表示と警告音は、一定の温度まで下がると自動的に止まり、通常モードへ復帰する仕様にはなっておりますが、オーバーヒートが発生した際は、メインスイッチを切り、十分に冷ましてから使用してください。

処置を行ってもたびたびオーバーヒートが発生する場合は、弊社へお問い合わせください。

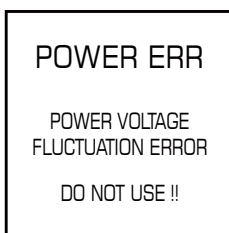


・電源電圧変動異常

バッテリーやACアダプターからの供給電圧に異常が発生したときに右図の画面を表示します。

バッテリーの装着状態やACアダプターの接続状態に異常がないか確認してください。バッテリーやACアダプターに異常がないか確認してください。

確認を行ってもバッテリーやACアダプターに異常がない場合は、使用を中止して弊社へお問い合わせください。



■メインスイッチをオンにしたにも係わらず、インフォメーションモニターにも何も表示されない場合は以下をご確認ください。

・メインスイッチが正しい方向に入れているかを確認してください。

(ACアダプター使用時：「-」が押し込まれている状態、
バッテリー使用時：「=」が押し込まれている状態)

・バッテリーが正しく取り付けられているかを確認してください。

・バッテリーの残量が十分かを確認してください。

・ACアダプターと本機各プラグ・各コードが正しく接続されているかを確認してください。

上記を確認したにも係わらず症状に変化がない場合は、弊社へお問い合わせください。

■放電管には素手で触れないでください。

もし触れてしまった時はアルコール等でよく拭き取ってからご使用ください。

指紋などが付着したまま使用しますと、その部分が白濁し、光量が低下したり、寿命が短くなることがあります。

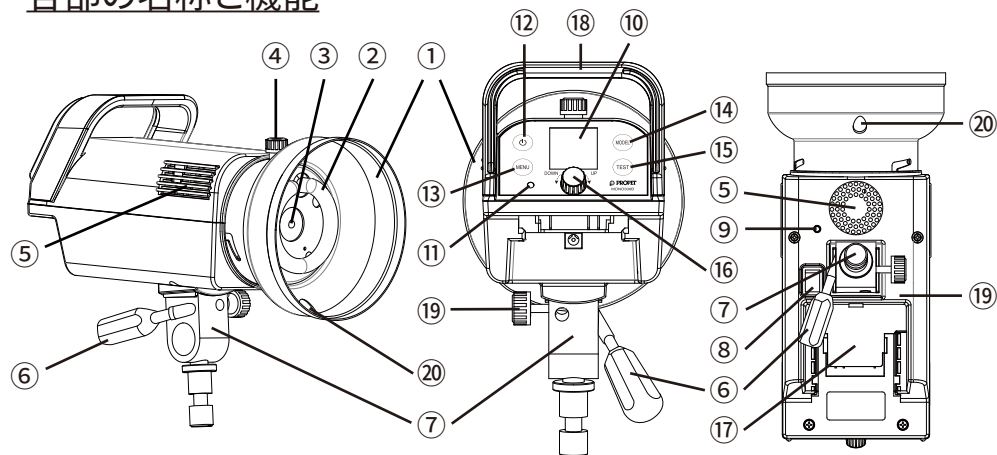
■長期間使用機会が無い場合でも、年に1～2回は通電させてください。

製品の性能を保つため、使用機会がない場合でも年に1～2回は通電・発光させてください。

行なわれなかった場合、内部のコンデンサーの寿命が短くなったり、設定が消去される原因になります。

■弊社の対応ワイヤレスリモートコントローラーからの各種設定のコマンド信号を受信すると、本機のモデリングランプが一瞬、短い周期の点滅をします。これは本機がワイヤレスリモートコントローラーのコマンドを受け付けた合図（アンサーバック）ですので、故障ではありません。

各部の名称と機能



①レフレクター

パラソルレフNが付属しています。

②放電管

硬質ガラスタイプが付属しています。

③モデリングランプ

LED (基板直付け) タイプが実装されています。

④レフレクター止めネジ

アクセサリの各種レフレクターを固定します。

⑤換気口

吸気・排熱用の窓です。

⑥パン棒

ストロボ本体をパンさせたり、アングルを固定するときに使います。

⑦雲台

スタンドや三脚などに取り付けて、ストロボを任意の方向に固定できるようにするものです。

⑧メインスイッチ

本機の電源を管理します。

・ACアダプター使用時

「一」が押し込まれている状態

・バッテリー使用時

「=」が押し込まれている状態

・電源オフ

「一」も「=」も押し込まれていない状態(中立)

⑨シンクロコンセント(X)

ミニフォンジャックタイプ(3.5φ)です。

⑩インフォメーションモニター

各種設定や本機の状態などを表示します。

⑪スレープ発光用センサー部

スレープ発光用の受光センサーがあります。

⑫電源ボタン

本機をスリープ/復帰させるときに使用します。

⑬MENUボタン

各種設定画面を開くときに使用します。

設定画面を開いているときには、押すたびに一つ上位の設定項目に戻ります。

⑭MODELボタン

モデリングランプをコントロールします。押すたびに最大光→1/2光→1/4光→オフの順に繰り返します。

⑮TESTボタン

テスト発光を行います。出力選択中に当ボタンを押すことで、表示中の出力への決定と同時にテスト発光を行います。設定画面を開いているときは、メイン画面に戻ります。

⑯プッシュ付きロータリースイッチ

各項目の選択や決定を行います。

・ツマミを時計回りに回す

強調表示が下方向へ移動します。

・ツマミを反時計回りに回す

強調表示が上方向へ移動します。

・ツマミを押下する

選択を決定します。

出力変更など選択中に点滅表示するものは、その状態で約3秒経過すると自動的に決定されます。出力変更時にツマミを押し込んだまま左右に回すことにより、出力を0.1EVずつ変更することが可能です。

⑰バッテリー取り付け部/ACアダプター用ジャック

バッテリーを取り付ける部分です。奥側にACアダプターの差し込み口があります。別売のACアダプターを使用する際は、バッテリーを外してください。

バッテリーとACアダプターとの同時使用はできません。

⑱ハンドル/自立用スタンド

持ち運ぶ際にハンドルとして使用できません。簡易バックライトとして使用する際など、自立用のスタンドとして利用できます。

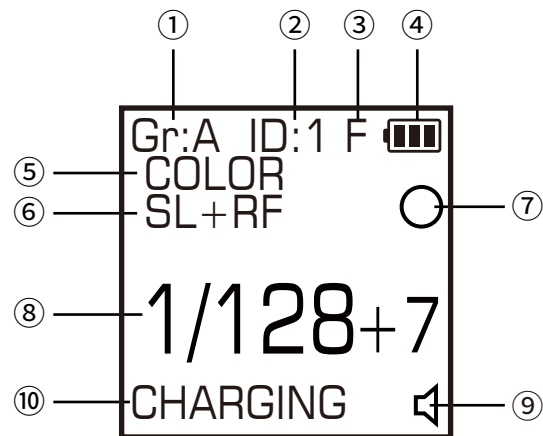
⑲パラソル止めネジ

パラソルを固定する際に使用します。

⑳パラソル心棒差し込み穴

パラソルを取り付ける際に使用します。

インフォメーションモニター メイン画面表示



①グループ

本機が所属するグループを表示します。A～Dの4グループに編成できます。リモートコントローラー (RFR-1) 使用時に、グループ単位での全体調光が可能です。

②ID

本機に割り付けられているIDを表示します。1～8まで割り振ることができます。リモートコントローラー (RFR-1) で個別調光を行う際に参照します。

③発光信号受信マーク

リモートコントローラー (RFR-1) からの発光信号を受け取った際に表示します。

※本機の TEST ボタンの押下による発光時には表示されません。


④電源インジケータ

電源の状態を表示します。


: ACアダプター

: バッテリー 残量: 満充電

: バッテリー 残量: 2/3

: バッテリー 残量: 1/3

(バッテリー交換または充電の目安とお考えください)

: バッテリー、残量: 空 (点滅)
バッテリーの残量が空になると、電池インジケータの点滅が10秒間続いたあと、インフォメーションモニターに下のイラストが点滅表示されます。



この画面になると電源ボタン以外の操作を受け付けなくなり、20秒後に自動的にディープスリープモードに入ります。

※ディープスリープモードとは

全ての画面表示を消し、各ボタンを押してもウェイクアップしない省電力モードです。このモードに入ったら、メインスイッチをオフにしてから、バッテリーを外し、空になったバッテリーを充電してください。バッテリーの充電中も使用したい場合は、十分に充電された別のバッテリーと交換するか、ACアダプターの使用に切り替えてください。

⑤発光モード

本機の発光モードを表示します。

・COLOR

ストロボ全光量で色温度の変動を抑えたCOLORモードであることを表します。

・ACTION

閃光時間の短いACTIONモードであることを表します。

⑥シンクロオプション

本機のシンクロオプションの状態を表示します。

「RF」が点灯していないときは、リモートコントローラーからの操作を全て受信することができませんのでご注意ください。

・SL

スレーブ発光モードであることを表します。

・RF

リモートコントローラー (RFR-1) を受信可能なモードであることを表します。

・SL+RF

スレーブ発光モードでリモートコントローラー (RFR-1) を受信可能なモードであることを表します。

・OFF

本機の TEST ボタンと有線のシンクロ接点 (X 接点) のみ有効なモードであることを表します。

⑦モデリングランプインジケータ

モデリングランプの状態を表示します。

○: オフ

●: 最大光

◐: 1/2 光

◑: 1/4 光


⑧出力インジケータ

設定されている出力を表示します。FULL～1/128まで設定することができます。変更幅は後述の「STEP」にて変更可能です。

⑨スピーカーインジケータ

スピーカーの状態を表示します。SOUNDの設定状態を表すものではありません。

: スピーカー出力あり

: スピーカー出力なし

⑩ステータスインジケータ

本機の内部コンデンサーへの充／放電の状態を表示します。

・ CHARGING

設定出力へ合わせるために内部コンデンサーへの充電を行っていることを表します。

・ READY

設定出力での発光準備が整ったことを表します。

・ AVAILABLE

FASTモード時のみに示される表示で、発光可能出力まで到達したことを表します。

・ DISCHARGE: 設定出力へ合わせるために、内部コンデンサーの放電を行っていることを表します。

※放電に際しましては、内部回路の保護の為に多少のお時間をいただく仕様となっております。TESTボタン押下による捨て発光の実施により、設定出力へ即時に合わせることが可能です。

基本的な取り扱い方法

■本体のセット

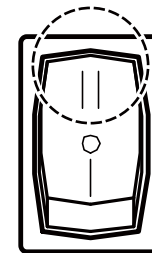
- ・ 雲台をスタンド等に固定し、レフレクターについているキャップを外します。
パラソルを使用する場合は心棒をパラソル心棒差し込み穴に通し、パラソル止めネジで固定してください。心棒が8ミリまでのパラソルを使用することができます。オプション品のレフレクターやソフトボックスを使用する場合は、レフレクター止めネジを緩めてからレフレクターを交換し、再びネジを締め付けてください。特にソフトボックスを使用する場合は、レフレクター止めネジがしっかり締まっていること確認してください。重量があるため、脱落して思わぬ事故を引き起こす可能性があります。
- ・ パン棒を緩めてから本機を動かし、照射方向を決定します。
照射方向が決まったら、角度が変わってしまわないように再びパン棒で雲台を締め付けてください。

■発光準備

1. 電源をオンにします。

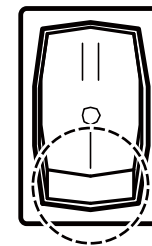
【バッテリーで運用する場合】

- ・ メインスイッチがオフになっている事を確認し、バッテリーを本機に取り付けます。カチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。メインスイッチの「=」側を押し込みます。



【ACアダプターで運用する場合】

- ・ メインスイッチがオフになっている事を確認し、ACアダプターの出力側プラグを本機にしっかりと差し込んでください。メインスイッチの「-」側を押し込みます。



2. スプラッシュスクリーンを表示した後、メイン画面が起動します。
3. プッシュ付きロータリースイッチのツマミを左右に回し、必要な出力に合わせてください。
4. そのままの状態でも約3秒待つか、ロータリースイッチのツマミを押し込むと合わせた出力にセットされます。
5. 内部コンデンサーへの設定出力分の充電が完了すると、発光許可状態になります。
6. 以上で発光準備は完了となります。

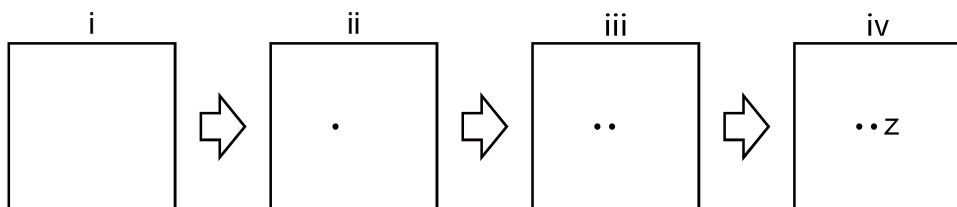
■テスト発光

1. テストボタンを押し、正常に発光することを確認してください。
2. 発光後、直ちに内部コンデンサーへの充電状態に移行します。
※ただし、出力が低い設定の場合など、内部コンデンサーへの充電状態に移行しないこともあります。
3. 内部コンデンサーへの設定出力分の充電が完了すると、発光許可状態になります。
4. 以上の動作中に、エラーなどが発生しなければ正常に動作しています。

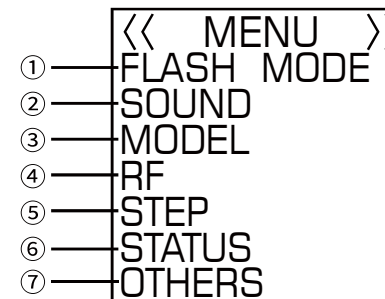
■スリープ機能

本機はスリープ機能を搭載しており、電力消費を抑えることが可能です。
本機がスリープ状態に入ったときは、画面に以下のようなアニメーションを一定間隔で繰り返し表示します。スリープには、以下の条件のときに移行します。

- ・メインスイッチがオンの状態のとき、電源ボタンが押された
 - ・バッテリーで運用しているとき、何も操作しない状態が30分間継続した
 - ・ACアダプターで運用しているとき、何も操作しない状態が60分間継続した
- スリープ状態のとき、電源ボタン/MENUボタン/MODELボタン/TESTボタンのいずれかを押すことで通常状態に復帰します。



各種設定



MENU ボタンにより、各種設定を行うことができます。

メニュー画面

①FLASH MODE

本機の発光モードとシンクロオプションが設定できます。

②SOUND

本機の実作確認音などに関する設定ができます。

③MODEL

本機のモデリングランプのオプションを設定できます。

④RF

リモートコントローラーで正しく操作するために、グループ分けや認識番号の設定ができます。

⑤STEP

本機の出力の変更幅を設定できます。

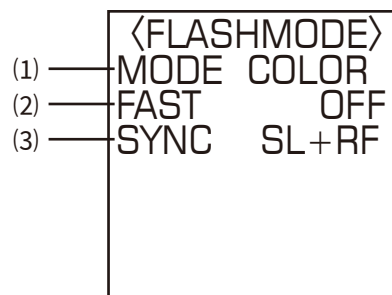
⑥STATUS

本機の各状態を表示します。

⑦OTHERS

その他の利用可能な機能を選択できます。

①FLASH MODE 本機の発光モードとシンクロオプションが設定できます。



番号	項目	設定値	説明
(1)	MODE ※1	COLOR	ストロボ全光量で色温度の変動を抑えた調光を行うモードとなります。
		ACTION	閃光時間の短い調光を行うモードです。
(2)	FAST ※2	OFF	FASTモードを使用しません。
		ON	FASTモードを使用します。
(3)	SYNC	OFF	本機のTESTボタンと有線のシンクロ接点(X接点)によるシンクロオプションのみを有効にします。
		SL	スレーブ発光を有効にすることで、フラッシュ光の受光時に同調して発光します。
		RF ※3	リモートコントローラー(RFR-1)の信号を受信可能にします。
		SL+RF	スレーブ発光が有効でリモートコントローラー(RFR-1)を受信可能にします。

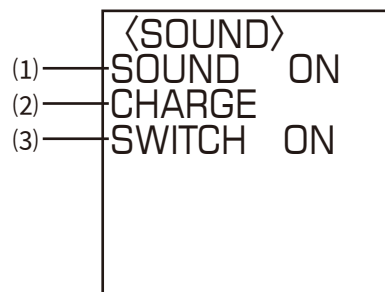
※1 ACTIONモードで使用した後、すぐにCOLORモードで使用する場合、出力値によってはステータスインジケータが「DISCHARGE」表示になることがあります。この場合は、ステータスインジケータが「READY」表示になるのを待つか、捨て発光を数回行ってから撮影に臨んでください。

※2 FASTモードとは

内部コンデンサーが一定値まで充電された時点で発光を許可するモードです。通常、本機では内部コンデンサーが満充電されるまで発光を許可しませんが、FASTモードを使用することで次発光までの間隔を短くすることが可能になります。内部コンデンサーの満充電完了前に発光させた場合は、出力は設定値より低くなりますので、色温度の再現性よりも連写での追従性を重視したいシーンなど、次発光までの間隔を優先したい場合にご使用ください。

※3 「RF」が点灯していない時はリモートコントローラーからの操作を全て受信することができませんので、ご注意ください。

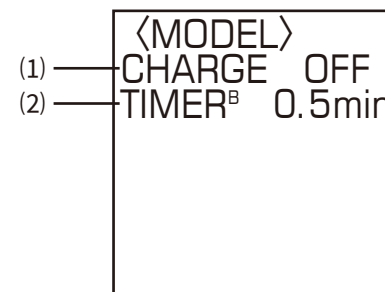
②SOUND 本機の操作確認音などに関する設定ができます。



番号	項目	設定値	説明
(1)	SOUND	OFF	音を鳴らしません。
		ON	音を鳴らします。
(2)	CHARGE ※1		内部コンデンサーへの充電中は、短い音を連続して鳴らします。(ピピピピ...)
	READY ※1		内部コンデンサーへの充電完了時にのみ、短い音を鳴らします。(ピッ)
(3)	SWITCH ※1	OFF	ボタン操作時に確認音を鳴らします。
		ON	ボタン操作時の確認音を鳴らしません。

※1 「SOUND」が「OFF」になっているときは、本項目の設定に係わらずに音はなりません。

③MODEL 本機のモデリングランプのオプションを設定できます。

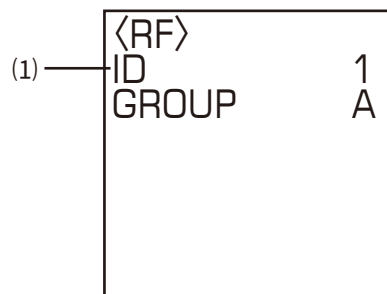


番号	項目	設定値	説明
(1)	CHARGE ※1	OFF	モデリングランプを点灯させているとき、内部コンデンサーへの充電中はモデリングランプを消灯させます。
		ON	モデリングランプを点灯させているとき、内部コンデンサーへの充電中もモデリングランプは点灯したままになります。
(2)	TIMER ^B ※2	OFF	モデリングランプのオフタイマーを使用しません。
		0.5min	MODELボタンでモデリングランプの光量を決定した時点から、30秒経過するとモデリングランプを消灯します。
		2min	MODELボタンでモデリングランプの光量を決定した時点から、2分でモデリングランプを消灯します。

※1 モデリングランプを消灯している場合は、本項目の設定に係わらず、モデリングランプは消灯したままになります。

※2 ACアダプターで運用している場合は、本項目の設定に係わらず、モデリングランプのオフタイマーは無効になります。

④RF リモートコントローラーで正しく操作するために、グループ分けや認識番号の設定ができます。



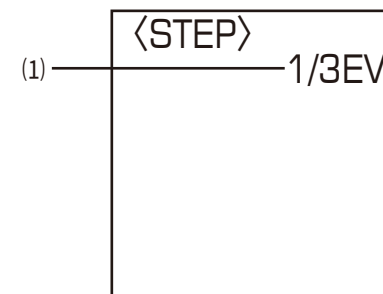
番号	項目	設定値	説明
(1)	ID ※2	1～8	識別番号(ID)を1～8の間で設定できます。 任意の番号に設定してください。
(2)	GROUP	A～D	グループ名をA～Dの間で設定できます。 任意のグループ名に設定してください。

注意 同一グループ名且つ同一IDの設定が複数台ある場合は、混信して正しく動作しませんのでご注意ください。

※1 RF: Radio Frequency (無線周波数) のことですが、本機および本取扱説明書では無線の意味として使用しています。

※2 ID: Identification (識別)

⑤STEP 本機の出力の変更幅を設定できます。



番号	項目	設定値	説明
(1)	STEP	1/3EV	出力の変更幅を1/3EVずつに設定します。 例 (UP方向へ回したとき): 1/8 → 1/8+3 → 1/8+7 → 1/4
		1/2EV	出力の変更幅を1/2EVずつに設定します。 例 (UP方向へ回したとき): 1/8 → 1/8+5 → 1/4
		1EV	出力の変更幅を1EVずつに設定します。 例 (UP方向へ回したとき): 1/8 → 1/4 → 1/2

⑥STATUS 本機の各状態を表示します。

```

<< STATUS >>
(1) CHARGTEMP 31.0
(2) LEDTEMP 30.0
(3) POWER 14.4V
(4) CHARGE 220.0V
(5) COUNT 10
(6) Ver1.20
    
```

	項目	表示値	説明
(1)	CHARGTEMP	例: 31.0	内部コンデンサーへの昇圧・充電部周りの温度です。
(2)	LEDTEMP	例: 30.0	モデリングランプ周りの温度です。
(3)	POWER	例: 14.4V	電源の電圧です。
(4)	CHARGE	例: 250.0V	内部コンデンサーに充電されている電圧です。
(5)	COUNT	例: 10	総発光回数です。
(6)	Ver	例: 1.20	ファームウェアのバージョンです。

⑦その他の利用可能な機能を選択できます。

```

<OTHERS>
(1) FACTORY DEFAULT No
(2) SLAVE SENSOR NORMAL
    
```

番号	項目	設定値	説明
(1)	FACTORY DEFAULT ※1	No	各種設定値を工場出荷状態に戻す機能です。 「Yes」を選択（長押し）することで実行されます。
		Yes	
(2)	SLAVE SENSOR ※2	NORMAL	スレーブ発光用のセンサーの感度を切り替える機能で 「HIGH」にすることで、より高感度になります。
		HIGH	

※1 FACTORY DEFAULT を実行しても、総発光回数は保持されます。
FACTORY DEFAULT の実行後は、メイン画面に戻ります。一旦メインスイッチをオフにしてからご使用になることをお奨めいたします。

※2 センサー感度をHIGHにすることで誤発光が多発する場合は、
NORMALでご使用ください。

主な仕様

型式	MONO300B
最大出力	300Ws
調光方式	シリーズカット式+電圧式
調光範囲	FULL~1/128
放電管	硬質ガラス(ブロック式)
モデリングランプ	LED式、12W(ハロゲンランプ85W相当)
モデリングランプ調光	あり(1/4光、1/2光、最大光の切り替え式)
冷却方式	空冷式、冷却ファン内蔵
色温度(FULL) ※2	COLORモード5400K±50K、ACTIONモード5500K±150K
表示部	有機ELディスプレイ(モノクローム)
外部ストロボ同調センサー	あり
充電時間(FULL) ※2	約2.8秒
充電通知	断続音 ※3
不発警報	連続した警告音(約5秒間)、「ERR」の文字と共に出力表示部が点滅
閃光時間 ※2	COLORモード1/800~1/7000秒、ACTIONモード1/800~1/9000秒
電源	リチウムイオンバッテリー/ACアダプター(排他式)
外形寸法 ※4 レフレクター直径×高さ×奥行き	136φ × 190 × 280mm
重量 ※4	1.6kg / 1.9kg(バッテリー装着時)
付属品	パラソルレフN、レフレクター止めネジ、レフレクターキャップ、パラソル止めネジ、パン棒クイックリファレンスガイド、保証書、バッテリー ※5

※1 各測定値は参考値です。

※2 充電時間、閃光時間、色温度は出力に応じて変動します。

※3 「SOUND」の設定に依存します。

※4 標準レフレクター装着時。突起部、雲台を含みます。

※5 バッテリー同梱モデルに限ります。

故障かな?と思ったら...

電源が入らない

- ・メインスイッチは正しく切り替えられていますでしょうか?バッテリーで運用する際は「=」側、ACアダプターで運用する際は「-」側がしっかりと押されていることを今一度ご確認ください。スリープ状態でも、バッテリーは少しずつではありますが消費されますので、スリープ状態のまま長期放置するとバッテリー切れを起こすことがあります。
- ・バッテリーの残量は十分でしょうか? バッテリーが十分に充電されているかを今一度ご確認ください。
- ・バッテリーはしっかり取り付けられていますでしょうか? バッテリーの取り付け直しを再度お試しください。
- ・ACアダプターのプラグやコードは正しく取り付けられていますでしょうか?各接続を今一度ご確認ください。

フラッシュが光らない

- ・放電管ブロックは正しく取り付けられていますでしょうか?放電管ブロックの電極端子が正しく挿入されているかどうかを今一度ご確認ください。
- ・放電管ブロックは純正品が取り付けられていますでしょうか? MONO300Bはこれまでの弊社製放電管ブロックと互換性がございませんので、ご注意ください。
- ・内部コンデンサーへの充電中は発光しない仕様※注になっております。充電が完了しても発光しないかどうかを今一度ご確認ください。

※注 FASTモード使用時は例外となります。

光量が少ない

- ・FASTモードをご使用中ではないでしょうか？ FASTモードでは発光を優先させるため、内部コンデンサーへの充電が十分でなくても発光させることが可能となっております。FASTモードを「OFF」にして、現象が改善されるかを今一度ご確認ください。
- ・放電管ブロックの電極側が劣化していないでしょうか？放電管ブロックは消耗品です。使用頻度・経年変化により劣化してきます。放電管の白濁／電極側の異常な黒ずみ／放電管内の異物などが無いかを今一度ご確認ください。

モデリングランプが勝手に消える

- ・バッテリーでの運用時にはモデリングランプのオフタイマーが適用される場合があります。MENUボタンからMODELの設定内容を今一度ご確認ください。

モデリングランプが勝手に連続で発光する

- ・「SYNC」の設定がスレーブ発光モード（「SL」または「SL+RF」）になっていないかをご確認ください。スレーブ発光モードに設定されている場合、一部のLEDから発せられる光（本機のモデリングランプやLED球を使った懐中電灯など）の光源が本機のスレーブ発光用センサーの近くにあるときに、このような現象が起こることがあります。これは仕様によるものであり、故障ではありません。現象を回避するには、光源とスレーブ発光用センサー部を十分に離していただくか、スレーブ発光の必要がない場合は「SYNC」の設定を「RF」または「OFF」に切り替えてご使用ください。

※当現象は発光管や内部回路に負担を掛けるため、部品の寿命が短くなったり、故障の原因になったりする可能性がありますので、意図的に発生させるような使用方法はご遠慮ください。

音が出ない

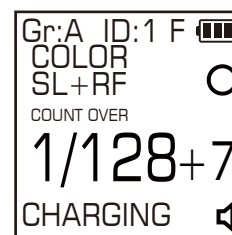
- ・「SOUND」の項目で、「SOUND」がOFFに設定されていないでしょうか？本機のオプション品であるRFR-1を使用している場合、RFR-1の電源投入時にSOUNDを含めた各設定がRFR-1に設定されている内容へと変更されます。本機のみならず、RFR-1のSOUNDの設定も今一度ご確認ください。

充電音がかすれて聞こえる

- ・1/128など出力が小さいときは充電時間がごく短く、スピーカーが音を発するために必要とする十分な時間に満たない場合があります。1/8などに出力を上げたときに音に異常がなければ、スピーカー周りには問題ございません。出力を上げた状態でも問題があるか、今一度ご確認ください。

画面に「COUNT OVER」の文字が点滅している

- ・放電管の発光回数が一万回を超えました。このままでもご使用いただけますが、放電管の耐用回数を超えているため、不発光などが起こる可能性が高くなっています。放電管ブロックの交換の交換を検討されることをお勧めいたします。「COUNT OVER」の点滅表示を止めたい場合は、お手数ですが、ご購入された販売店様、または弊社各営業所までご相談くださいますようお願いいたします。



その他

- ・「OTHERS」の項目にある「FACTORY DEFAULT」をお試しください。現象が改善される場合があります。一度、メインスイッチをオフしてからバッテリーやACアダプターを外し、30秒ほど待ってから再度電源を投入する、という手順をお試しください。現象が改善される場合があります。

以上を確認、実施しても現象が改善されない場合や、何度も頻発する場合は、ご購入された販売店様、または弊社各営業所にご相談くださいますようお願いいたします。

アフターサービスについて

保証について

保証期間は同封の保証書に記載されています。

本製品に純正部品・純正または指定のアクセサリ以外のものを使用する事によって生じた故障、事故、及び、本取扱説明書により注意、禁止した事が守られずに生じた故障、事故については一切の責任を負いかねます。

なお、消耗品類（放電管、モデリングランプ、電解コンデンサー、雲台など）は保証の対象となりません。

修理点検のご依頼について

異常が発生した時は、お求めの販売店様、または下記の弊社各営業所に修理点検をご依頼ください。

修理の際は、本体・コード類をセットにしてお出してください。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。

修理完了品をお受け取りになる時は

修理完了品に添付されている伝票には修理内容が明記されておりますのでご確認ください。

また、次回の修理の際に必要な場合もございますので大切に保存してください。

免責事項

弊社製品は一般的な写真、または動画の撮影に用いることを目的として設計・製造されたものです。従いまして、下記に挙げるような分野や、生命にかかわるような状況下で使用される機器、またはシステムなどでの使用は一切想定されておりません。これらの分野に於いて弊社製品を使用し、それにより損害が発生した場合でも、弊社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものとさせていただきます。

原子力・放射線関連　宇宙・海底機器関連　輸送機器（鉄道・航空・船舶・車両設備など）　防災・防犯機器　医療機器や娯楽設備　燃焼機器や電熱機器、及び可燃性流体を使用する機器
電気／ガス／水道などの供給システム　課金に直接関わる設備／用途

大規模通信システムや、交通・航空管制システムなど高い信頼性が
必要な設備・機器　官公庁、もしくは各業界の規制に従う設備
故障及び動作不良が、直接または間接を問わず、生命、身体、財産
などへ重大な損害を及ぼすことが通常予想されるような、高い信頼性
を要求される装置・機器　その他、上記に準ずる高度な信頼性、
安全性が必要な装置・機器

また、以下のような損害や場合に関しましても、弊社はあらゆる賠償責任から免責されるものとさせていただきます。

お客様による輸送・移動・移設時の落下、衝撃等、またはお取り扱いが適切でないために生じた故障・損傷

火災・地震・水害・落雷等の天災地変及び異常電圧による故障・損傷
弊社以外で修理・調整・改造した場合、あるいは修理・調整・改造しようとした痕跡が認められる場合

製品の説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障の場合

直接・間接を問わず、製品が使用できないことによって生じた損害、及び付随的な損害（お客様の要求を満たさないために生じた業務上の中断、ビジネスの機会消失などによる付随的・間接的損害、逸失利益など）

保守期間は製品販売終了後最大5年といたしますが、部品の製造中止などの不可抗力により、保守期間内であっても保守が出来ない場合があることをあらかじめご了承ください。

尚、保守部品の保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合もございますので、ご購入先、または弊社営業までお問い合わせ下さい。

弊社製品のハードウェア・ソフトウェアは、性能／機能の向上の目的などにより、予告なしに変更することがあります。